

エンディングノートの導入と書き方講座を開催しては



公明党 内山 恵子

問 最近、多くの自治体では、自分の健康管理や大切な家族間の対話のきっかけづくりにも大いに期待できるエンディングノートの導入に取り組んでいる。このノートは、作成する本人がさまざまなことを整理し、振り返ることで、自分で予防や気を付けていく気付きの心構えができ、前向きに日々を生きていくために大いに役立つと考える。介護

予防や認知症予防と併せて、本市でも導入してはどうか。また、ノートは仲間同士で楽しく相談しながら作成することもできるため、配付だけでなく、書き方の講座や講演などを開催してはどうか。

答 エンディングノートは、従来、終末期での緩和ケアや延命治療の実施希望の有無などを事前に確認すること

で、本人の意思の尊重や家族の心理的負担の軽減を目的に作成されていた。最近では、介護予防や認知症予防と併せて家族や友人との会話のきっかけづくりとしても活用されており、今後の研究課題としてい。また、エンディングノートを通じて他者と交流を図ることは、介護予防の一役を担うとともに、家族とこれからの生活上の考え方を確認し合う機会になると思われるため、導入時には書き方の講座などの開催も検討していきたい。(ほか「防災・減災対策について」を質問)

高齢者にやさしいまちづくりに必要な体制を望む



畑井 陽子

問 介護保険制度は、改定されるたびに複雑化し、保険料を払っている市民に分かりにくいものとなっており、介護保険の基本理念である高齢者の自立支援や介護の社会化から遠ざかっていく内容であると危惧している。平成27年4月の制度改正により、要支援1・2の方々は、介護保険給

付から市の介護予防・日常生活支援総合事業へ移行となったが、利用者の混乱や事業者に影響はないか。民生委員は、地域の受け皿としてさまざまな職務を担っている。本年度に改選される際、年齢制限が撤廃されることだが、影響を市はどう考えているか。

答 要支援認定を受けている方からは、移行後も従来の介護保険給付とサービス内容に変更がないため、現時点では特段の意見や要望などは聞いていない。事業者は、従来の予防訪問看護と予防通所看護が現状のまま移行しており、事業所への委託料も介護報酬と同額としているため、影響はないと判断している。民生委員の職務は、多岐にわたっており、担い手を増やすのは容易ではない。そのため、従前から、改選時にはできる限り引き続き引き受けてもらえるよう依頼している。今後も民生委員の方々が活動しやすい環境を構築していきたい。(ほか「少子化対策について」を質問)



学校支援ボランティアの導入を

志政あやせ 古市 正

問 子どもを取り巻く社会環境が大きく変化の中で、学校がさまざまな課題を抱えるとともに、家庭や地域の教育力が低下し、学校に過剰な役割が求められている。教員の仕事量は、大幅に増え、多忙と言われている中、主小・中学校に配置されている学校支援ボランティアの方々が、教育活動を支援しているが、活動内容は、また、活動内容を充実させるためには、学校のニーズに合った人材や打ち合わせ時間の確保など改善する課題があるため、学校支援ボランティアの導入を検討しないか。

答 学校の導入を検討しないか。の活動内容は、登下校の見守りなど子どもたちの安全確保、図書室の本の整理など学校の環境整備、本の読み聞かせなど学習の支援の3点の活動が行われており、教員だけでは担い切れない多くの業務に支援をいただいている。また、学校支援ボランティアコーディネーター制度の導入により、打ち合わせにかかる時間の確保などは、改善されること期待できるが、人材の確保が大変難しいという課題もあるため、今後、他の自治体の先進事例など情報収集に努め、研究していきたい。(ほか「地震ブレイカー設置促進」「本市の学力(学力学習状況調査)の現状とその対策」を質問)

乳幼児のB型肝炎ワクチン予防接種助成事業の推進を



公明党 三谷 小鶴

問 子どもがB型肝炎ウイルスに感染するとウイルスが肝臓に残りやすいため、世界

的にB型肝炎ワクチンの定期接種が進んでいる。わが国は、平成28年10月よりワクチンの定期予防接種化を承認したが、対象年齢が生後1歳未満と聞いている。本市の対象者や人数は、任意で市内の各医療機関で予防接種をする費用は、1回5千円から6千円で、接種回数が3回となるため1万5千円から1万8千円となり、経済的負担が大きい。予防接種の対象から外れる1歳児から2歳児までに対し、市の任意助成事業として、接種の推進を検討しないか。

答 定期予防接種化が予定されているB型肝炎ワクチンの対象者は、生後1歳に至るまでの間にある者とされており、本市では年間約700人を予定している。B型肝炎ワクチンは早期の接種が有効であるとともに、ゼロ歳児は他の予防接種との同時接種が可能であるため、高い接種率が期待される。現在、定期予防接種化に関して、予防接種法の改正などに係る通知や詳細な情報提供が国から来ていないため、具体的な内容は把握できていない状況である。このため、1歳以上の接種は、引き続き、国の情報に留意しながら検討していきたい。(ほか「学校の安全対策について」を質問)



7月17日、「市消防操法大会」が開催されました<オーエンス文化会館駐車場にて>

「あやせ市議会だより」は、直接お届けしています

あやせ市議会だよりは、市シルバー人材センターの会員が配布しています。

お手元に届かない場合は、同センター(☎70-3088)へご連絡ください。

次号は、平成28年11月15日発行です。

詳しい内容は会議録・HPで

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部を掲載しています。

詳しくは、市役所内情報公開コーナー、市立図書館、市議会に備えてある会議録をご覧ください。また、インターネットでも、会議録の閲覧や検索ができます。

なお、6月定例会の会議録は、8月下旬に閲覧できる予定です。